

『一心千里』

永田隆一

走っていたら、
見えてくる



第24回

今朝、通勤途中の電車
の中でのことでした。5
mほどの座席の列を隔
てた、ひとつ隣のドアの
ところに、黒いリクルー
トスーツを身にまとい、
黒髪をポニーテールに結
んだ聡明そうな美しい若
い女性が懸命に書類に目
を通していました。間違
いなく就職活動の最中で
ありましよう。ブラウス
からのぞくアイロンのか
かった白い襟元が、清潔
さと強い意思と大きな不
安を表していました。

筆者は頭の中で仕事の
手はずを考えていたので
ありますが、まったく動
揺してしまい、注意力も
散漫になってしまいました
た。その女性は、車椅子
に乗っていたのでありま
す。

《想定外》
先日テレビを観ていま
したら、数年前の国会中

継が流れていました。共
産党の政治家が、福島第
一原発は送電塔が脆弱
で、地震で送電がストッ
プする危険がある。一刻
も早い対処の検討をお願

電機は、保安施設建屋に
設置されていました。デ
ィーゼル自家発電機の内
置場所は、耐震構造で安
全率の高い原子炉建屋に
なぜ設置しなかったのか

す津波が襲う危険がある
ので、福島第一原発の津
波対策を考慮するよう強
く求めました。
しかし結果は、そうい
った指摘があった事実さ
え取り上げられなかった
そうです。元東電副社長
がインタビューに答えて
いました。「保安施設建
屋は5mの津波を想定し
て建設した。15mの津波
は想定外であった」。

結局、すべての送電が
後の対応でも懸命に命が
けで対処されています。
何が間違っていたのか
は今後検証されると思い
ますが、筆者には、組織
・制度設計そのものが出
発点から間違えていたと
しか思えません。その後
も何度も改善できたタイ
ミングはあったはずで
すが、それを組織・制度設
計そのものが取り入れな
い硬直した組織が邪魔を
したのであります。

《日本は何を目指す》
私の友人が、日本はイ
タリアになるべきだと申
します。理由は、労働時
間も少なく、生活の質の
点でも日本の上を行って
いる。高付加価値製品へ
シフトした政策の成果で
あると。別の友人は「マ
フィアが制度設計に入り
込んでいるイタリアでは
駄目だ。鎖国でもして考
え直すのも一興」と。
しかし、鎖国した場合、
食料自給率40%、エネル
ギー自給率1%が重くの
しかかってしまいます。
筆者の望みは、件のポニ
ーテールの女性が職を得
て、恋愛をして、明るく家
庭を築いてくれること。
そいつが日本がいいと思
います。

重要なことは『組織・制度設計』

40代、50代がそれを担うこと

いすると追及してしまし
た。それに対して原子力
保安員の責任者は笑みを
うかべて、したり顔で、
あらゆるリスクを想定し
てバックアッププランを
考慮しているので心配御
無用と回答しました。送
電ストップ時はディーゼ
ル自家発電機でバックア
ップすることができると
いう自信があったそつで
す。

そのディーゼル自家発
電機は、保安施設建屋に
設置されていました。デ
ィーゼル自家発電機の内
置場所は、耐震構造で安
全率の高い原子炉建屋に
なぜ設置しなかったのか

止まり、数時間しか持た
ないバッテリーのみが頼
みの綱となり、現場の作
業員の作業日誌には「蛍
光灯を外した」「手動で
バルブを開けようとした
が開かず」「怖い...」。
そして、水素爆発による
おびただしい放射能物質
が空へと撒き散らされて
しまいました。

《組織・制度設計》
どれだけ優秀で、経歴
が立派な方であったとし
ても、60代や70代では発
想の柔軟性や発想のフツ
トワークの観点から難し
い点が多々出てまいりま
す。そういった方々は、
アドバイザーとして重用
させていたこと。組
織・制度設計は40代や50
代が担うべきでありまし
ょう。国や企業の組織・
制度設計についても同じ

《毎月掲載》

そのディーゼル自家発
電機は、保安施設建屋に
設置されていました。デ
ィーゼル自家発電機の内
置場所は、耐震構造で安
全率の高い原子炉建屋に
なぜ設置しなかったのか

2009年に福島第一
原発の安全性を検討する
委員会が、産業技術総合
研究所が千数百年前の地
震を調査して、10mを超

組織で働かれています個
々人は、懸命に安全対策
を考慮しています。事故

《組織・制度設計》

《毎月掲載》

そのディーゼル自家発

そのディーゼル自家発

そのディーゼル自家発

そのディーゼル自家発

そのディーゼル自家発